

第30回三遠南信サミット2022 in 南信州 サミット宣言

三遠南信サミットは、平成6年2月10日に第1回を開催して以来、30回目を迎えました。この間、平成7年の地方分権推進法の成立や平成11年からの市町村合併の推進、道州制の議論など、地方自治や広域行政をめぐる大きな変化があり、また最近では、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により社会が大きく変容いたしました。こうしたなかで我々は、三遠南信地域の発展に向け、その時代に応じたテーマについて議論を行い、活動を積み重ねてまいりました。

今回の三遠南信サミットは、「第30回記念サミット 新たな時代に向けて～大変革時における地域のリデザイン～」をテーマに、3年振りに構成員等関係者が会場に参集しての開催となりました。第30回を記念し、全体会では、南信州の下條村ご出身で、俳優・タレントとしてご活躍されている峰竜太さんにご講演をいただいたほか、「DX」「道」「歴史」をテーマとした分科会では、これまでを振り返りつつ、各地域・各団体における様々な取組を共有するとともに未来に向けた新たな連携について議論いたしました。

本日の議論を踏まえ、我々三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）は、以下の項目に重点を置き、取組を推進してまいります。

1. 高速交通網の早期開通・実現に向けた活動の推進

中部圏の中核的都市圏となる地域基盤の形成に向け、第1回サミットからの悲願である三遠南信自動車道の早期全線開通をはじめ、浜松湖西豊橋道路の早期実現など、引き続き地域一丸となった提言活動を進めます。また、スーパー・メガリージョンの形成を見据えて、その基軸となるリニア中央新幹線の整備効果を活かすべく、一層の連携強化を図ります。

2. 三遠南信地域一体でのDXの推進

革新を取り込む産業創造圏の形成に向け、地域としてDXを推進することにより、新たな技術を活かした物流や人的交流をさらに活発化させ、行政、産業、地域などの枠を超えた「ヒト・モノ・コト」の行き交う社会の実現を目指し、三遠南信地域の一体的な発展、地域社会におけるイノベーションの創出、地域住民の生活の質の向上を図ります。

3. 歴史資源のリブランディングの推進

流域文化創造圏の形成に向け、令和5年のNHKの大河ドラマ「どうする家康」の放送開始に合わせ、域内に存在する様々な歴史資源のリブランディングを進めながら、地域連携による観光誘客やプロモーション活動に一層力を入れ、三遠南信地域のファン獲得を目指します。

県境を越えた広域連携による絆を一層強化・深化させ、官民連携の強みを活かした多様な主体による新たな地域連携のプラットフォームの形成を目指すなど、2030年を目標年次とする第2次三遠南信地域連携ビジョンの実現に向け、この場を共有する全ての主体が取組を進めることを確認し、第30回三遠南信サミット2022 in 南信州のサミット宣言といたします。

令和4年10月24日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議
第30回三遠南信サミット2022 in 南信州